

令和3年版環境白書（資料編）

第2章 安全で安心できる生活環境の保全

3. 化学物質の環境リスク対策

(3) ダイオキシン類対策

① 環境中の汚染状況を把握するための計画的な常時監視

表1 環境中のダイオキシン類常時監視結果 調査期間：令和2年6月～令和3年2月

	調査対象	区分	測定地点	単位	測定結果				
					環境基準超過地点数	最小値	最大値	平均値	環境基準値
一般環境監視	大気	—	6	pg-TEQ/m ³	0	0.0042	0.019	0.0078	0.6
	大気(松江市)	—	1	pg-TEQ/m ³	0	0.0053	0.018	0.0099	0.6
	水質	河川	2	pg-TEQ/L	0	0.063	0.23	0.15	1
		海域	1	pg-TEQ/L	0	0.085	0.085	0.085	1
	水質(松江市)	河川	1	pg-TEQ/L	0	0.24	0.24	0.24	1
	底質	河川	2	pg-TEQ/g	0	2.0	7.6	4.8	150
		海域	1	pg-TEQ/L	0	0.14	0.14	0.14	150
	底質(松江市)	河川	1	pg-TEQ/g	0	0.51	0.51	0.51	150
	地下水	—	5	pg-TEQ/L	0	0.052	0.11	0.068	1
	地下水(松江市)	—	1	pg-TEQ/L	0	0.052	0.052	0.052	1
土壌	—	4	pg-TEQ/g	0	0.00027	0.049	0.023	1,000	
土壌(松江市)	—	1	pg-TEQ/g	0	0.012	0.012	0.012	1,000	
発生源周辺監視	大気(松江市)	—	1	pg-TEQ/m ³	0	0.012	0.012	0.012	0.6
	水質(松江市)	—	6	pg-TEQ/L	0	0.0095	0.014	0.012	1
	底質(松江市)	—	8	pg-TEQ/g	0	2.0	63	20	150
	地下水(松江市)	—	1	pg-TEQ/L	0	0.052	0.052	0.052	1
	土壌(松江市)	—	1	pg-TEQ/g	0	3.4	3.4	3.4	1,000

※大気、水質及び底質の調査結果における最小値、最大値及び平均値は、各地点の年間平均値の最小値、最大値及び平均値

表2 馬潟工業団地周辺ダイオキシン類対策の検討経過

年月日	項目
平成12	・馬潟工業団地内水路の底質から高濃度のダイオキシン類を検出
平成13～15	・「馬潟工業団地周辺ダイオキシン調査対策検討会議」を設置し、汚染原因の究明及び対策工法の検討、健康影響調査等を実施
平成16	・「馬潟工業団地周辺水路ダイオキシン対策委員会」を設置し、対策工法を検討し、決定。 ・「島根県環境審議会」において、公害防止事業費事業者負担法に基づく事業者負担について審議。これを基に県が「馬潟工業団地周辺ダイオキシン類対策事業に係る費用負担計画」を策定
平成17～19. 7	・底質浄化対策工事の実施（分解無害化処理、原位置固化・封込め）
平成19. 9	・工事完了後のダイオキシン類調査において、水質・底質それぞれ1箇所環境基準を超過していることを確認
平成19.10～21. 3	・水路内及びその集水域においてダイオキシン類追加調査を実施。 ・再汚染の原因究明や再発防止対策について検討
平成21. 4～22. 3	・対策工法について検討し概要を決定 ・「島根県環境審議会」において、工事費の事業者負担のあり方について審議
平成22. 4～22. 7	・工事費の事業者負担のあり方について、県が「馬潟工業団地周辺ダイオキシン類対策事業に係る費用負担計画」を策定 ・「馬潟工業団地周辺水路ダイオキシン対策委員会」において対策工法を決定
平成22. 8～22. 9	・対策工事の実施（事業者自主対策区間；浚渫除去、原位置固化・封じ込め）
平成23. 2～23. 3	・対策工事の実施（県及び松江市対策区間；浚渫除去）
平成23.11.28	・「馬潟工業団地周辺水路ダイオキシン対策委員会」において対策工事が適切に行われたと評価
平成27. 3	・すべての負担金が完済